令和2年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会

期間:令和2年12月17日(木)~20日(日) 場所:東京都世田谷区駒沢体育館



令和2年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会は令和2年12月17日(木)~20日(日)の4日間、東京都世田谷区駒沢体育館で 行われた。今大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため出場選手を1階級8選手に絞り、大会関係者の体育館への入場制 限や事前検温等、十分に感染対策を行い実施された。また、今年度、全日本クラスの大会が、相次ぎ中止となっていたため本大会は今 年度初の全国クラスの大会となった。

自衛隊体育学校第2教育課レスリング班からは、赤熊猶弥2等陸尉以下32名(うち集合訓練参加者5名)が出場した。男子フリース タイルから3名、グレコローマンから2名、女子フリースタイルから1名の合計6名が優勝し、大会を盛り上げた。

また、フリースタイル 125kg 級とグレコローマン 87kg 級では体育学校の選手が表彰台を独占する活躍を魅せた。

Freestyle 97kg



4度目の優勝を飾った 赤熊2尉

目指すは東京五輪出場 赤熊

大会2日目、フリースタイル 97kg 級に連覇を狙う赤熊猶弥2等陸尉が 出場した。第1シードにより準決勝から始まった赤熊2尉は、昨年度天皇

3年連続4度目 杯 2 位で長年のライバルの山口剛選手(新日本プロレス)に 4 – 2 で勝利。

迎えた決勝は初優勝を狙う石黒峻士選手(新日本プロレス)との対戦となった。開始1分56秒10-0 のテクニカルフォールで勝利し、3年連続4度目の優勝を飾った。

「今年は世界選手権に出るつもりで準備してきた。その世界選手権がなくなり、昨年の天皇杯後国内 大会には出場しないと決めていたので、今大会に出場するか最後まで迷ったが出てよかった。準決勝と 決勝は緊張した中で勝てた。今後は来年3月のオリンピックアジア予選に向けしっかり準備していきた い。」と語った。







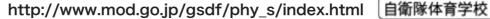
大会3日目、フリースタイル 79kg 級に今年度入隊した吉田隆起2等陸 曹が出場した。準々決勝は不戦勝で進み、準決勝、梅林太朗選手(早稲田 大学)に5-2で勝利。決勝ではこの階級で昨年度明治杯優勝、世界選手 権出場経験のある高橋夢大選手(日本体育大学)に8-7で勝利し、初の

栄冠を手にした。

成長著しい吉田2曹 「自衛隊体育学校に入り、自分に足りないところを徹底的に指導してもらい、日々学ぶことが多く、成長 のスピードが早く感じる。来年度の明治杯でもう一度優勝し、海外選手と勝負できるレベルになっていきたい。」と語った。



自衛隊体育学校の活躍・活動を Web サイト、インスタグラムでご覧ください。







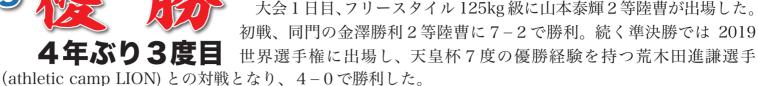


reestyle 125kg





国内で負けない選手を目指す 山本





練習で自分を追い込んで 試合で勝利した山本2曹

迎えた決勝は、昨年度天皇杯優勝の田中哲矢2等陸曹との同門対決となった。田中2曹が一歩リードし ていたが、試合終盤に山本2曹が田中2曹を場外に押し出し3-1で逆転勝利、天皇杯4年ぶり3度目の 優勝を決めた。

「昨年天皇杯で3位にも入れなくて悔しい思いをした。オリンピック出場を賭けた試合で優勝できなく て辞めようかと思うくらい落ち込んだ。周りの励ましがあり今大会は絶対優勝してやろうという気持ちに なった。今後は国内 125kg 級で負けない選手になりたい。」と語った。

》グレコローマン 09/10 今後は、国際大会で成績を残したい



大会 1 日目、グレコローマン 82kg 級に同階級で 2 連覇を狙う向井識起陸 士長が出場した。

向井士長は、第1シードにより準決勝からの試合なった。相手は2019世 界選手権出場の岡嶋勇也選手 (警視庁) となった。しっかり相手に対応し

7-3で勝利、決勝に駒を進めた。決勝は昨年の決勝と同じ、同門の川村洋史3等陸曹との対戦となった。 結果5-0で勝利し、大会2連覇を達成した。

「今後はオリンピック階級で勝たないといけない。非オリンピック階級での大会2連覇について思うことは ない。これからは、国際大会海外の試合で成績が残せる選手になりたい。」と語った。



国際大会で勝利を目指す 向井士長

〉グレコローマン eco-Roman 87/k 今後は身体とメンタルを強化



最後は気持ちで勝利した 阪部2曹

階級変更し



大会2日目、グレコローマン87kg級に今年度グレコローマン77kg級から階 級を変更した阪部創2等陸曹が出場した。初戦準決勝、同門の鶴田峻大3等陸 曹に4-1で勝利。迎えた決勝は、この階級全日本3連覇中の同門の角雅人3 等陸曹との対決となった。実力者同士の試合は互いに一歩も引かない展開となっ た。試合終盤、阪部2曹は勝利への執念でポイントを重ね6-3となり、2016 年明治杯以来の優勝となった。

「天皇杯では初めて、そして久しぶりの優勝で嬉しい。この階級連覇している相手に最後は気持ちで勝て た。87kg 級に階級を上げたので、まだ身体が劣っている部分がありメンタルとともに今後強化していきた い。」と語った。

女子フリースタイル

アジア選手権優勝に繋げたい



大会1日目、女子フリースタイル 72kg 級に、同階級で 2019 世界選 手権第3位の古市雅子2等陸曹が出場した。この階級出場選手が3名 だったため、シードの古市2曹は決勝1試合のみとなった。相手の小林 奏音選手(専修大学)に2分 28 秒 10-0のテクニカルフォールで勝

利し、全日本初優勝を手にした。

「この状況の中、開催された大会での中でしっかり勝てて良かった。来年2月に予定されているアジア選 手権(カザフスタン)での優勝に繋げたい。今後はしっかり体を作り、攻めるレスリングをしたい。攻め る事を怖がらない気持ちを作りたい。」と語った。



全日本初優勝の古市2曹

(メダリスト)

男子フリースタイル

79kg 級 2等陸曹 吉田隆起 (和歌山県) 97kg 級 2等陸尉 赤熊猶弥 (福岡県) (静岡県) 125kg 級 2等陸曹 山本泰輝

準優勝

74kg 級 3等陸尉 高谷大地(京都府) 125kg 級 2等陸曹 田中哲矢 (鹿児島県) 第3位

125kg 級 2等陸曹/金澤勝利 (岩手県)

男子グレコローマン

82kg級 陸士長 向井識起 (広島県) 87kg級 2等陸曹 阪部 創(和歌山県)

準優勝

72kg 級 1等陸士 堀江耐志 (和歌山県) ※第32普通科連隊(集合訓練参加者) 77kg 級 3等陸曹 小路直頌(福岡県) 82kg級 3等陸曹 川村洋史(静岡県) 87kg級 3等陸曹 角 雅人(佐賀県) 97kg級 2等陸曹/志喜屋正明(沖縄県)

第3位

77kg 級 2等陸曹 櫻庭功大(秋田県) 87kg級 3等陸曹 鶴田峻大 (沖縄県)

女子フリースタイル

勝

72kg 級 2等陸曹 古市雅子(熊本県) 第3位

今井海優 (京都府) 65kg級 陸士長 76kg 級 2等陸曹 阿部梨乃(青森県)





自衛隊体育学校の活躍・活動を Web サイト、インスタグラムでご覧ください。







